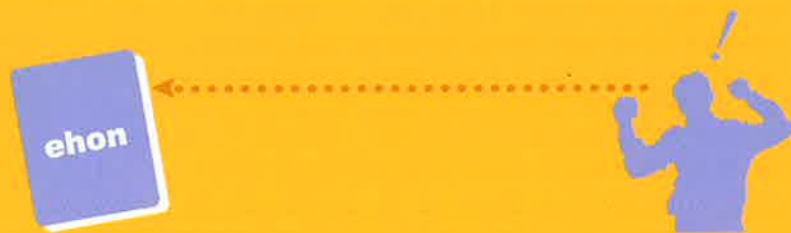


絵本売上が上がり続けるのある会社

売上を上げる絵本って何だ？

会社の絵本は、カタチは絵本そのものですが、伝える内容は企業理念だったり、価値観だったり、ビジョンだったり、ミッションだったりします。つまり、目に見えないものを表現する本。文章で伝えても社員になかなか浸透しないなら、「いっそ絵本にしましょう」というワケです。ところで、絵本なら目に見えないものが伝わるのでしょうか。たとえばイソップ童話。アリとキリギリス、ウサギとカメ、北風と太陽、金の斧、嘘をつく子供などなど。どれも「教訓」が入っています。物語を楽しく読んでいるうちに、「さぼっていたら将来自分が困ることになるんだ」とか、「嘘ばかりついていると真実を言っても信じてもらえなくなるんだ」といった教訓が素直に心の中に入ってきます。この作用を利用して、社員に理念や価値観やビジョンを伝える。左脳ではなく右脳に訴える。心にしみこませるのです。社員全員のベクトルが揃えば、それは大きな力となって売上に直接つながります。具体的な事例を裏面で紹介していますので、ぜひご覧ください。



WHY?

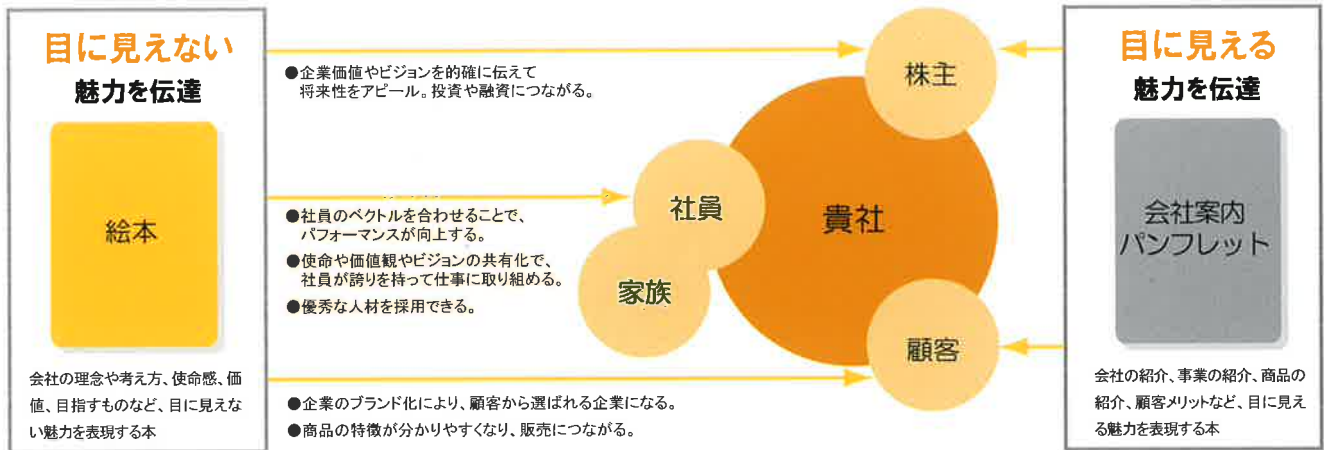
「絵本のある会社」は売上がグングン上がっている



貴社の売上を上げ続けるための絵本を、私たちワークが作ります

絵本の効能

ハートやスピリッツは童話でしか伝わらない



事例紹介

カルチャーを社員に浸透させて事業戦略を実現する

創業11年目に上場を果たし、17期目には売上250億円を突破。今なお快進撃を続けるセプテーニ・ホールディングス。社は「ひねらんかい」をはじめ、「100人の商人(あきんど)戦略」「1・10・100・1000の法則」など、ユニークなカルチャーが存在する魅力的な会社です。数字の「7」にこだわる七村会長は、売上100億円を突破した14期目(←7の倍数)に、こう考えました。「これまでは、強い会社になることを目指してきた。これからは強く偉大な会社になるための戦略が必要だ」と。そこで、7つの約束を考案。社員に発表したのです。7つの約束とは、「Speed」「Stretch」「Partnership」「Fair & Open」「Originality」「Passion」「Free & Rule」。社員一人ひとりが、どう考え、どう行動すればいいか、の指針が明らかになりました。これをもっともっと社内に浸透させるために、絵本「Septeni Way」を発刊することになったのです。クマのディッパー君が活躍する7つの童話。物語の途中で、「さて、このあと主人公のディッパー君はどうしたでしょう」と質問して、読者に考えさせる工夫が盛り込まれているあたりは、さすがに「ひねられて」います。



株式会社セプテーニ・ホールディングス
「Septeni Way」2006年2月発刊
182×182mm 44P 上製本

愛されるキャラクターを使って社内の意識統一を図る

ミッション経営を行っているクリエアナブキ。全ての社員が、会社のミッション、ビジョン、バリューを暗唱できるほど。しかし、「実際の仕事の現場でそれが活かされているかどうかは疑問」と考える蔵田社長の発案で絵本を作ることに。タイトルは「ヌーイと仲間たち」。主人公の犬のヌーイが、お客さまや仲間たちとの関わりの中で成長していく物語は、涙する場面もあるほど感動的。ストーリーの中に、会社のバリューである「クオリティとスピード」「Think Win-Win」「3つの勇氣」「楽しさと感動」「目的共有体」が全て盛り込まれていて、「提供するサービスにおいて国内最高のクオリティを目指す」というビジョンへ、そして「人が『活かされ』『活きる』をコーディネートする」ミッションへとつながっています。これを社員に配布することで、自社への愛情が高まるとともに、判断や行動の基準がより鮮明になり、仕事の現場で自社の精神が活かされることになりました。また、取引先への配布により、会社の魅力を伝えることにも成功。今後は愛されるキャラクター「ヌーイ」を使って、ブランディングにも力を入れていく予定です。



株式会社クリエアナブキ
「ヌーイと仲間たち」2007年8月発刊
182×128mm 64P 上製本

会社の魅力を学生にPRして欲しい人材を確保する

「地球にちょっぴりいいことを」をテーマに、パワーエレクトロニクスの技術開発を行っているマイウェイ技研。高度な技術で省エネルギー化に貢献しているだけでなく、太陽光発電や風力発電といった新エネルギーの開発も手がけ、地球や社会に役立つ技術を提供しています。「社員を大切にしたい」と考える楊(ヤン)社長は、社員が魅力的な人間に育つようにと、さまざまな教育制度を整えています。そんな素敵な会社に、社員全員が誇りを持っているのですが、これを新しく採用する人材にどう伝えるかが悩みのタネ。「知名度ではどうしても大手に負けてしまう。会社の中身には自信があるんだけどなあ」。そこで、楊社長が考えたのが、絵本形式のコンセプトブック。自分たちが手がけている開発は環境に優しい技術であり、とてもやりがいのある仕事だということ、最先端の技術を身に付けられるうえに人間的にも成長できること、などを訴えました。新卒採用の内定者に手渡すことで、彼らの入社意識が高まるだけでなく、ご両親への説得材料にもなって、優秀な人材を確保することに成功した事例です。



マイウェイ技研株式会社
「地球にちょっぴりいいことを」2008年3月発刊
182×128mm 12P 中綴じ